

工業系高校生への 溶接技術教育へのサポート

関東大会で韮崎工業高校生が連覇、上位独占

ACTIVE KUMIAI

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会(中出英三会長)は、業界の溶接技術者の育成、溶接技術の向上に関わる支援事業の一環で、全国でもいち早く業界の将来を担う高校生の人材育成に取り組んでいる。県内の工業系高校と連携し、高校生および教員に対する溶接実務研修などを実施している。

高校生を対象とした協会主催の溶接競技会は、高校生の日頃の学習成果を発揮する場として定着してきており、今年も6月7日に第6回山梨県高校生溶接競技会を開催し、上位2名を来年4月に行われる関東甲信越高校生溶接コンクールに、山梨県代表として派遣する予定である。

昨年6月に開催した第5回大会では、韮崎工業高校の志村優太選手が優勝、瀬川真暉選手が準優勝し、今年の4月26日、東京ビッグサイトで開催された第5回関東甲信越高校生溶接コンクールおよび今回初の開催となった全国選抜高校生溶接コンクールに山梨県代表として参加した。関東大会は11都県の代表22名が参加、全国大会は関東大会の上位2名と全国各地区の代表15名が参加して技術的に高水準の熱い戦いが繰り広げられた。関東大会では瀬川選手が最優秀賞(1位)、志村選手が優秀賞(2位)を受賞し、全国大会では瀬川選手が2位、志村選手が3位と好成績を収めた。

山梨県代表は関東大会において大会第1回から2位、3位、2位、昨年度は優勝、そして今回は1位・2位を独占という好成績を収め、年々成果を挙げてきている。この好成績は、高校生自身の日々のたゆまぬ努力の成果であるとともに、大会前の事前講習会での協会インストラクターによる技術実技指導や会場機器などの借用料、材料費の負担をはじめとした協会の全面的なバックアップによるところが大きい。

今後とも協会は、高校と連携しながら、業界のすそ野の拡大と二層の技能向上、普及推進に向けて活動していく中で、高校生が関心を持ちさらには溶接の資格を取得し、県内業界各社に就職・定着できる流れを目指していきたいと考えている。



山梨県教育委員会での報告会